

保護者や地域と共に創る「笑顔の花広ぐ相知小 ONE TEAM」

真をもって学び、笑顔でつながり、未来を創る子どもの育成

～おちついて うでくんで ちえを出し合う 相知っ子～ 「にこ・きび・はき・どん」



この指とまれ！

唐津市立 相知小学校
学校だより No. 6
令和8年9月1日発行
文責：校長 佐伯美和



右上のQRコードを読み取っていただくと相知小学校ホームページからもご覧いただけます。



45日間という長かった夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。久しぶりに学校へ行って帰ってきたお子さんの様子はいかがでしたか？

夏休みを振り返ってみると、毎年訪れる2回の原爆投下の日や終戦記念日。ご家族でも「平和」について考えられたのではないのでしょうか。また、この夏は、国内・国外問わず、いろんな場所で様々な自然災害が発生しました。今もその被害にあわれた多くの方が大変な思いをされています。その中で前を向いて生活を立て直そうと必死に生きておられます。皆さんは、佐賀県多久市出身の画家「池田学」さんをご存知ですか？東日本大震災をきっかけに3年の月日をかけて描いた絵があります。全体を見ると満開の花咲く大木が目飛び込んできますが、よく目を凝らして部分を見ると色々なシーンが描かれていることに気がきます。例えば、花びらの部分は花ではなく、鳥だったり、仮設住宅を示すテントだったり、人間や動物の赤ちゃんだったり…。また、或る幹の部分は破壊された町だったり、道路だったり、遊園地だったり…。地球上で繰り返し起こる災害、その大きな被害にあっても再建しようと前を向く人々の営み。その様子や姿によってその絵は描かれているのです。タイトルは『誕生』。今日、9月1日は「防災の日」でもあります。いつ、どこで、何があるかわかりません。その時どう命を守り、避難をするか、おうちの人との約束事確かめるように、始業式の中で子どもたちに話をしました。

そして、今日から2学期の始まりです。今年度のリ・スタートとして、1学期よりブラッシュアップさせた時間が過ごせるように相知小学校の行動目標「にこ・きび・とも・はき・どん」の確認をしました。6年生が考えた「とも」①友達を大切にしましょう ②朋（＝仲間）と支え合いながらすすみましょう ③共（＝一緒）にあゆみましょう という話もしています。

運動会や旅行、様々な体験活動等、たくさんの行事がある2学期です。今学期も言葉や行動をきれいな花束にして、多くの人に届けながら、充実した学びができるよう整えていきたいと思います。保護者や地域のみなさんのご理解とご協力も、よろしくお願いします。

まだまだ、暑い日が続きます。熱中症の予防も意識するよう、ご家庭でも声をかけてください。

【2学期初日の子どもたちの様子より】

子どもたちの“物語の続き”を感じるわくわく

2学期初日、子どもたちが登校してくる足取りは、夏休みの思い出を胸にしまいながらも、「続きが読みたい物語」のページをめくるような軽やかさがあります。

学級の仲間と再会し、先生と顔を合わせ、教室の空気が一気に動き出す瞬間。この“再スタートの力”は、子どもたちの学びをぐっと前へ押し出してくれます。

2学期は、子どもたちが自分の得意を見つけたり、仲間と力を合わせたり、心が大きく育つ場面がたくさん訪れます。

それぞれの物語がどんな展開を見せてくれるのか、わくわくしながら見守りたいと思います。

学校全体が“動き出す瞬間”のわくわく

学校に子どもたちの声が戻ってきました。夏休み中、静かだった校舎が一気に息を吹き返し、廊下の足音や教室の笑い声が、まるで学校全体を動かすエンジンのように響いています。

今日からまた、子どもたちの挑戦が始まります。授業、行事、友だちとの関わり、日々の小さな気づき——そのすべてが、子どもたちの成長を形づくる大切な一歩です。

2学期も、子どもたちが安心して挑戦できる学校であり続けられるよう、職員一同で力を合わせていきたいです。新しい季節の始まりを、みんなで楽しみましょう。



始業式



校歌斉唱



生活の話



実習生紹介



教室の様子



給食の様子



今日から10月2日まで、門田直孝さんという大学生が5年生で教育実習をします。相知小学校を卒業し、中学生の頃から小学校の先生になることを夢見、やがてそれを目標にして学び続けてきたそうです。この1か月間、熱い思いをもって実習します。5年生だけでなく、どの学年の子どもたちにも接する機会があります。未来の先生をみんなで育てていきます。